

宇宙への旅 2008 IN NAGANO

取り組みに至る背景・事業の目的

2007年に実施した「宇宙への旅」イベントが市民から高い評価を得るとともに、継続開催の要望が多く寄せられた。こうした市民からの要望を受け、多くの市民に宇宙への知識・興味を高めてもらうと共に、子供達と「夢とロマン」を共有し、子供達の健全な心を育み、さらには将来科学の道に関心を示すきっかけを提供する場として本イベントを企画した。

宇宙航空研究開発機構の専門家による月の起源や進化の謎についての講演や、地元の先生による天文・科学の体験教室により、子供から大人まで幅広く宇宙や科学への関心を高め、地域における文化・学術の振興・発展に寄与するとともに、地方発の宇宙イベントとして全国に情報発信することを通じ、地域社会の活性化にもつなげることを目指した。

事業内容

- 宇宙航空研究開発機構による月周回衛星「かぐや」の月探査をテーマにした講演会の実施
- ステージイベント（第1～第4ステージ）の実施
- 体験教室の実施
（宇宙と地球の不思議、天文工作など11教室）
- 宇宙服コーナーの設置（宇宙服の試着）
- 展示コーナーの設置（宇宙の衣食住と宇宙食試食）
- NHKコーナーの設置（月面の観測）
- 来場記念証プレゼントコーナーの設置
（来場記念証のプレゼント）
- グッズコーナーの設置（宇宙食・ポケット図鑑等グッズの販売）



【体験教室の様子】

事業効果

- 予想を超える2,300名の来場者があり、学校教育では学べない理科教育イベントとして、多くの子供たちに一流の講師の話を聞く機会や、宇宙、科学、理科について実践的に学ぶ場を提供出来た。
- 講演会は700名が聴講し、日本の宇宙科学技術力の高さや、最新の月探査の成果について多くを学ぶとともに、子供たちと「夢とロマン」を共有できた。
- ステージイベント、体験教室他では多くの親子が参加し、理科や科学の楽しさ、面白さを学び、体験する場を提供できた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

子供たちに対する理科教育イベントとして「宇宙」をメインテーマに来年も継続して実施したい。出展団体、参加スタッフとも昨年より大幅に増えて地域への広がりが大きくなったが、今後はさらに参加者を増やす努力と、ワークショップなどアウトリーチ活動にも力を入れて、子供たちが理科や科学の楽しさ、面白さを学ぶ機会を増やし、技術立国日本を支える人材の育成に少しでも寄与出来るように、理科教育の普及・発展に取り組むシステムを構築し、地域社会の活性化につなげて行きたい。そして子供たちと「夢とロマン」を共有出来るイベントを目指したい。

【選定のポイント】

予想を上回る参加があったほか、運営協力団体間での新たな交流促進が生まれるなど、事業効果に広がりが見られた。

団体名	宇宙への旅 2008 IN NAGANO 実行委員会（長野市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	宇宙への旅 2009 IN NAGANO 実行委員会	事業費	1, 724, 026円
事務局	電話 090-7276-7269	支援金額	1, 538, 000円